

災害ボランティアリーダー の役割

社会福祉法人長野県社会福祉協議会
まちづくりボランティアセンター



台風19号により被害を受けた長野市穂保地区



0:04 / 1:05

スクロールして詳細を表示









行政が想定する地区役員 の 役割

発災前

- ・指定緊急避難場所(地区公民館)の開設
- ・各役員等を通じて避難の呼びかけ
- ＋自分自身の安全確保

発災後

- ・被害状況の集約
- ・安否確認
- ・地区災害対策本部の運営(地区防災計画)、自主防災組織の運営(実施計画)
- ＋自分自身の復旧活動

「指定緊急避難場所」は、津波、洪水等による危険が切迫した状況において、住民等の生命の安全の確保を目的として住民等が緊急に避難する施設又は場所を位置付けるものであり、「指定避難所」は、避難した住民等を災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在させ、または災害により家に戻れなくなった住民等を一時的に滞在させることを目的とした施設(内閣府HPより)



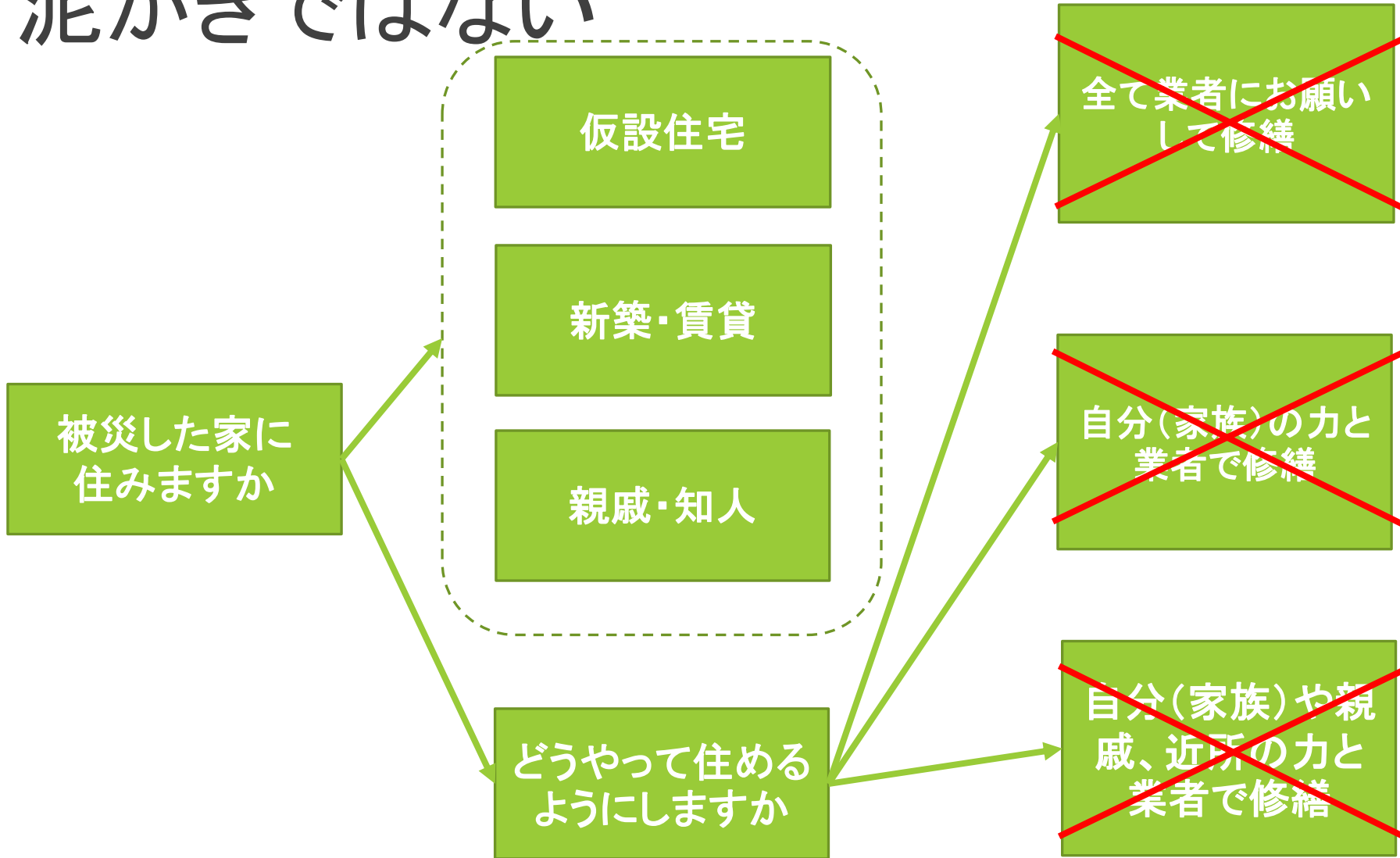
報告お願いします！！

取材いいですか

あの人心配...
あれどうしましょう...



災害ボランティア活動は単なる泥かきではない



~~自助~~

- ~~○自分自身で復旧~~
- ~~○保険~~
- ~~○貯蓄~~

公助(制度)

- 応急修理制度**
 - ・被災した住宅の日常生活に必要な最小限度の部分の修理
- 被災家屋の公費解体**
 - ・市が公費により解体。自費解体の費用償還可能
- 被災者生活再建支援金**
 - ・生活再建のための支援金。住宅の被害状況や再建状況によって金額が変わる

~~共助(助け合い)~~

- ~~○義援金~~
 - ・生活再建を支援するため、配分委員会を通して被災者に直接届くお金
- ~~○隣近所の助け合い~~

災害ボランティア

災害ボランティアの紹介

被災状況により公的な支援（公助）や自身の力（自助）、さらに近隣等の住民の助けあい（共助）では補いきれないニーズに対し、自分や仲間同士で得意なことやできることで、被災者の自立・生活再建を支援する活動

- 泥や災害廃棄物を片付けることが目的ではない
- 被災者の日常を取り戻すために、手段として片付けを行っている
- 地域の力を活かしつつ、災害ボランティアの力を借りることが重要

被災地に行く前に

被災地の状況を確認しましょう

道路の寸断や二次災害の発生、コロナ感染症の状況等を確認し、被災地に行くことができるか、危険はないか十分にチェックしましょう。また、被災地の近隣で助け合える場合は災害ボランティアセンターの開設がない場合があります。

想定される活動に合わせた服装・装備しましょう

水害と地震災害では活動内容や服装が違います。自身の安全を守れるようしっかり準備しましょう。また、季節にあわせた持ち物(飲み物やカイロなど)も自分で準備しましょう。もしものためにボランティア保険は長和町で加入してください。

現地の災害ボランティアセンターのルールを確認しましょう

災害ボランティアセンターによっては駐車場を確保できないことがあります。また、受付時間や方法、活動時間、廃棄物の出し方等が違います。現地に負担をかけないよう、事前に確認をしましょう。



被災地のために自己完結できるように準備

水害

ボランティア

作業 マニュアル

これで 完ペキ



帽子or
ヘルメット

ゴーグル
(コンタクト
使用者は必須)

防塵マスク
立体型がおススメ

長袖
速乾性のシャツ
がおススメ

泥だらけで置く場所
がないことも
ウェストポーチや
デイパックで
荷物をひとまとめ

雨具(上下別で
防塵にも)
梅干し(熱中症注意)
ミニ応急セット
貴重品

※床下の泥出し
作業に
ヘッドライト
が大活躍
あづきはせむい
ヤツが便利♪

タオルやめくい
名札

厚手で長めの
ゴム手袋
軍手はNG
(中にはめるなら
汗を吸うのでGood)

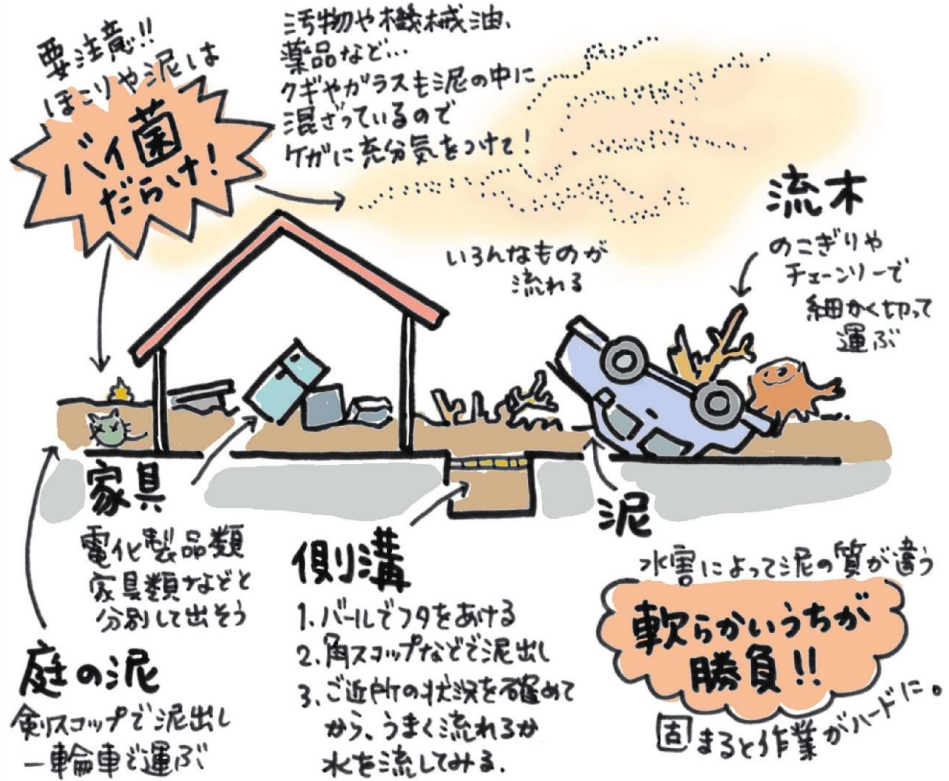
水筒
目や手の洗える
水がベスト

長ズボン
長ぐつ

長いタイプで踏み抜き
防止金板入りがベスト
(踏み抜き防止の中敷
もある)

その他

◆片付けの前に保険や補償(り災証明など)のために、被災の現状を写真で撮るなどして記録しましょう。
エンジンをかけない(発火やエンジンが全壊する恐れあり) ◆冷蔵庫やエアコンのフロンガス回収を忘れず



要注意!!
ほこりや泥は
バイ菌だらけ!

汚物や機械油、
薬品など...
クギやガラスも泥の中に
混ぜられているので
十分に気を付けて!

流木
のこぎりや
チェーンソー
細かく叩き
運ぶ

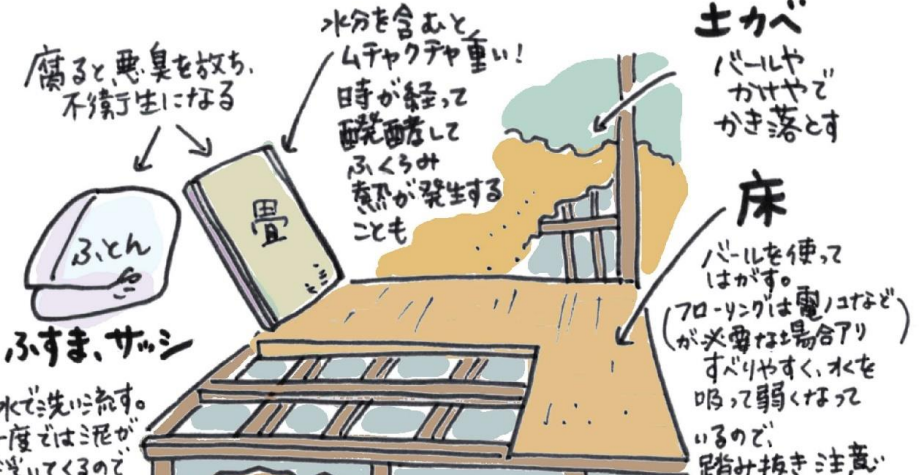
いろんなものが
流れる

家具
電化製品類
家具類などと
分別し出そう

庭の泥
余りスコップで泥出し
一輪車を運ぶ

側溝
1. バールでフタをあける
2. 角スコップなどで泥出し
3. ご近所の状況を把握して
から、うまく流れるか
水を流してみる。

水害によって泥の質が違う
軟らかいうちが
勝負!!
固まると作業がハードに。



腐ると悪臭を放ち、
不衛生になる

ふすま、サッシ
水で洗って乾かす。
一度では泥が
浮いてくるので
何度か繰り返す。

水分を含むと
ムチャクチャ重い!
時間が経って
菌が繁殖して
ふくろうみ
悪臭が発生する
ことも

土カベ
バールや
かきやで
かき落とす

床
バールを使って
はがす。
(フロリングは電ノコなど
が必要の場合アリ
すべしやすく、水を
吸って弱くなる
るので、
踏み抜き注意)

災害ボランティア活動の紹介



災害廃棄物の運搬ボランティア

家屋の復旧で一番最初に行うこと。危険なモノも含まれているため、インソールや皮手袋の準備が必要です。



泥かきボランティア

水を含んでいる泥の場合や乾いている場合によって対応や道具が変わります。廃棄方法については必ず行政に確認しましょう。



ブラッシングのボランティア

壁や床を直す際に行う活動。細かく丁寧な作業なので根気が必要です。ブラッシングと併せて消毒も行います。一見きれいに見えても時間がたつと砂が浮き出てきてしまうので、何度も作業する必要があります。



清掃・片付けのボランティア

災害廃棄物や漂流物がきれいになった土地でも、実は小さい釘やガラス片が残っています。重機ではなく人間でなければできない作業です。



炊き出しのボランティア

在宅避難者や復旧活動者、ボランティアへ食事を提供する活動。被災地に知り合いがいる飲食店やキッチンカー事業者がたくさん来てくれました。被災地に元気をあげられえる活動です。



救護のボランティア

医師や看護師免許を持っている方が活躍するボランティア。被災地は危険が多いのでケガをしてしまう方もいます。初期診断や衛星面のマネジメントを行います。在宅避難者への訪問を行う場合もあります。



重機・技術系のボランティア

一般的なボランティア活動ではなく、専門的知識を活かした活動。災害ボランティアセンタースタッフは家屋の知識があるわけではないため、連携して被災住民に寄り添っていく。



サロン・居場所のボランティア

引っ越し、避難所、在宅等、今まで当たり前だった関係がバラバラになってしまっています。被災者同士で話し合ったり、顔なじみに会える場所を提供することで、被災住民の心を支援します。

- ・泥かきボランティア
- ・災害廃棄物運搬ボランティア
- ・清掃、ブラッシングボランティア
- ・炊き出しボランティア
- ・救護ボランティア
- ・災害VC運営ボランティア
- ・技術系ボランティア
- ・重機ボランティア
- ・農業ボランティア
- ・傾聴ボランティア
- ・写真洗淨ボランティア
- ・配食ボランティア
- ・サロンボランティア
- ・足湯ボランティア
- ・物資を届けるボランティア
- ・子どもサロンボランティア
- ・学習支援ボランティア
- ・IT支援ボランティア
- ・広報ボランティア

他にもたくさんあります

全国から駆け付けるボランティア活動者を
すぐに被災者へつなげたい

災害ボランティアセンターの活動

◆被災者の生活再建に向けた課題の調査、発見、受付

- ・被災者からの電話受付
- ・スタッフの訪問
- ・チラシ配り
- ・地区役員等からの情報共有

◆災害ボランティア活動の調整、マネジメント

- ・活動の紹介(住家、サロン、炊き出し)
- ・ボランティア保険の加入(受付)
- ・活動現場までの道案内
- ・資機材の貸し出し
- ・マスクや飲み物等の準備
- ・ケガ等の対応
- ・駐車場の確保
- ・運営費の確保
- ・ボランティア活動の募集、啓発

ボランティア活動の手順

災害ボランティア活動は
住家の復旧など、被災者の生活再建に
大きく貢献します



ABERCROMBIE
A
92
Hempset Beach

ボランティア活動が生まれる

勇気と感謝

ボランティアさんありがとう！

おかげで助かった！

あの時助けてもらったから、今度は自分が
被災地にボランティアに行くよ

ボランティア活動が生んだ感謝が次の被災地へ
そしてまた次の被災地へ



循環

みんなが助けあえる災害にも強い地域

災害ボランティアリーダーの役割

○災害ボランティア活動への理解

⇒知っているだけでも大丈夫です！

○災害発生時の協力

⇒3回目のコミュニティマッチング・受援力編で！